



都築 清子 議員

パパママ安心な子育て支援

子育て世代に安心感のある町政へ

宅地開発が進み、特に若い世代の転入が続いている。

子供の数も増える中、安心して子育てをするためには、町政の役割は大きい。

問 子育て支援課の窓口では、新庁舎を含め、お子さん連れで来た方へ、どのような配慮ができるか。

答 子育て支援課を玄関近くの分りやすい場所に配置し、貸し出し用ベビーカーの設置、カウンターにアグピーのぬいぐるみ等を置き、子ども達が飽きないような配慮をしている。

ベビーカーの利用を促すなど声かけや親切な対応に努める。

低いカウンターでの腰かけての窓口、子ども用の椅子やベビーカーの配置。

キッズスペースは、親の目が届く範囲での設置が困難であるため現段階では未定。

問 保育園、幼稚園の空き状況などの把握は。

答 毎月月初めに各園と情報の共有、空き状況の確認。子育て支援課は、状況を把握しているが、詳しい各園の情報は、直接園へ問い合わせをお願いしている。

問 学校給食の食物アレルギーについての研修、指導は。除去食についてはどのように考えていくのか。

答 食物アレルギーの児童生徒が増加傾向である。エピペンの取り扱いの研修会や救急シミュレーションを実施。

給食センターでは、メニュー間で材料や器具が交差しないよう、栄養士が調理指導を実施。

エピペンとは

アドレナリン自己注射のことで、食物アレルギーなどによるアナフィラキシーの症状を一時的に緩和し、ショックを防ぐための補助治療薬。

思いやりのある行政

「思いやりマーク」設置へ

外見からわかりづらい内部障がい者の方は、移動等の困難な状況が理解されにくい。

また妊娠初期の妊婦さん、高齢者やケガをした人へも、安心して町の公施設を利用できるような配慮が必要。

問 公共施設の駐車場に「思いやりマーク」を設置する考えはないか。

答 施設ごとに、障がいのある方、妊娠中の方、高齢者やケガをしている方が利用する際に、誰もがわかりやすい表示方法等を調査検討する。

新庁舎では4台分の専用駐車場を計画しており、既存の施設と同様にわかりやすい案内表示を実施する計画。

思いやり駐車スペース



障害のある方、妊娠中の方、乳児を運んでいる方、ケガをされている方、高齢の方など、移動困難な方が優先的に利用できる駐車スペースです。ご理解とご協力をお願いします。

「思いやり駐車場」マークの一例



公共施設の駐車場に設置してある例
(常滑市役所)

